

5) 全部をつなげよう！ 名前 ()

1. 別のプロジェクトにこれまで作ったプログラムを貼り付ける方法

- ①「WRO2026」などの新しいプロジェクトを作る。
- ②ファイル→開く でテキスト1のプログラムを開く。
- ③コピーしたいプログラムのまとまりの一番上をクリック。
- ④キーボードで「Ctrl+C」(コピー)を同時押し。
- ⑤「WRO2026」プロジェクトをクリック。
- ⑥キーボードで「Ctrl+V」(ペースト)を同時押し。
- ⑦同様の手順でコピーしたいものを次々貼り付ける。

※ 注意！ どうか LIST (今回の場合「Co」) だけは新しく作り直す必要がある。動作しなくなります。

※ 変数は一緒に作られますが、☑マークをオンにしておく必要があります。

2. 一回の試走で多くの修正をするための工夫

実際の試合では、コースに順番待ちの列ができ、練習のときのように小まめに修正することができません。そのため、できているプログラムを細分化して実行し、修正が必要なところを一気に洗い出す必要があります。そこで、プログラムの要所に区切りとなるストップを入れて置き、「本当はここに来てほしかった」ところまで動かした後、リスタートする工夫があります。

さらに、本番で一気にストップを削除するため、最初に変数「Stop」を入力し、練習では「1」本番前に「0」を入れることで、プログラムの中身をいじることなく、瞬時に切り替えられるようにします。

The diagram illustrates a program flow for a robot competition. It starts with a 'プログラムがスタートしたとき' (When program starts) block, followed by a 'Stop' block with '1' selected. This is followed by movement blocks: '移動に使うモーターを A+B にする', 'モーター1回転を 17.5 cm にする', and a loop of 'Tx1', 'Stop', 'Tx2', 'Stop', 'Tx3', 'Stop', 'Tx4'. A '定義 Stop' block is defined with 'Stop=1 毎回止まる' and 'Stop=0 止まらず続行'. A 'もし Stop = 1 なら' (If Stop = 1) block contains: 'センターボタンのライトを 赤 にする', '移動をやめる', '右 ボタンが 押された まで待つ', and 'センターボタンのライトを 緑 にする'. A '定義 Tx1' block contains: '↓ の向きに 40 cm 移動する', '↓ の向きに 1 秒 移動する', '↑ の向きに 2 cm 移動する', '左: -100 の向きに 255 度 移動する', '↑ の向きに 190 cm 移動する', and '移動をやめる'. A 'でなければ' (Otherwise) block follows. A '定義 Tx1' block is also shown at the bottom.

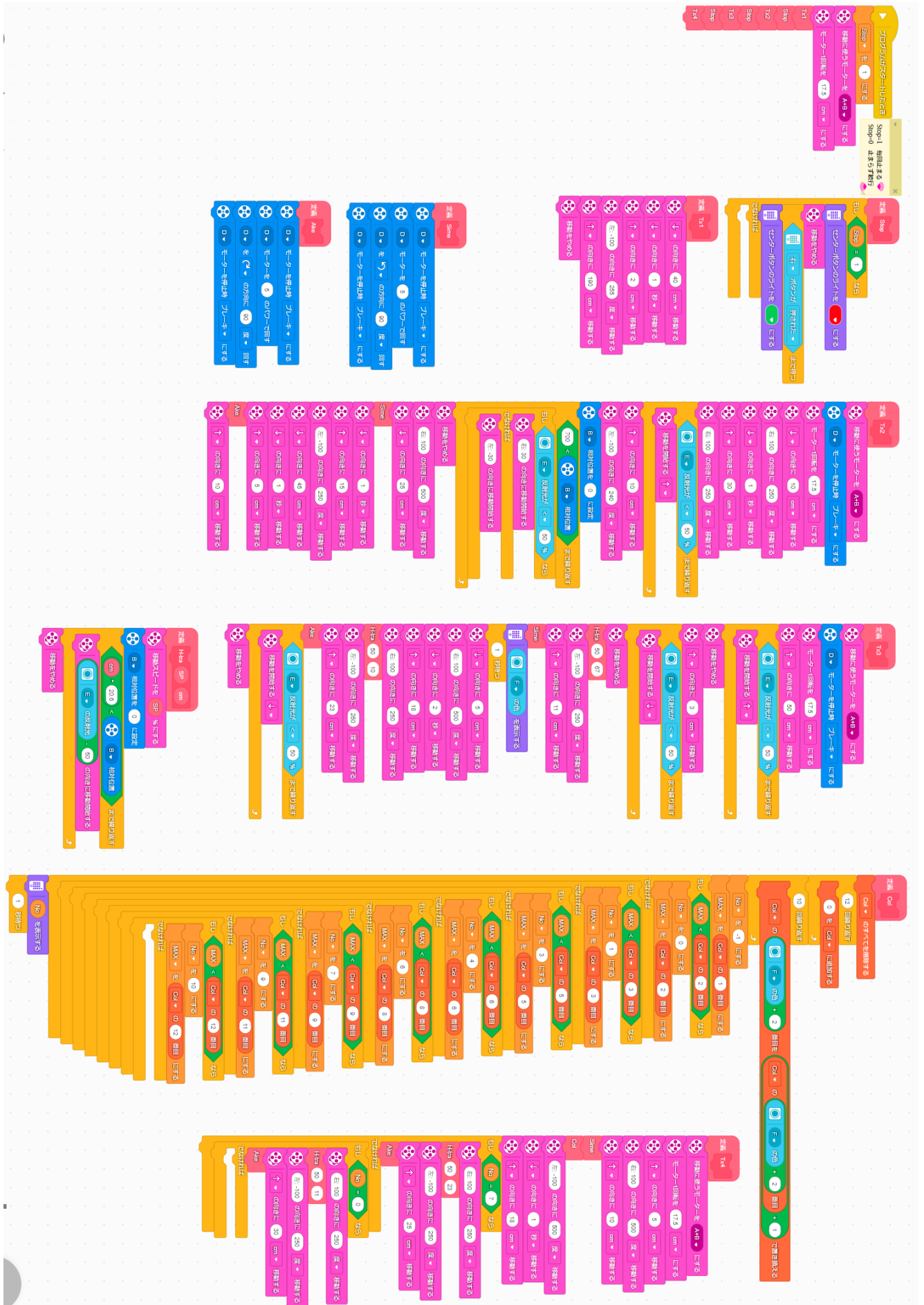
Stop=1 (調整モード) では、ポイントでライトを赤にして停止

テキスト1の内容をマイブロック「Tx1」テキスト2「Tx2」・・・として実行し間にマイブロック「Stop」を入れて停止させる。

Stop=0 (本番モード) では、何もせずにスルー

WROJapan 決勝大会では、iPad で動画を撮りながら試走し、失敗したところをホワイトボードに書き出しながら調整するなどの工夫を凝らしたチームが複数見られ、そういうチームはやはり強いです。

これまでの講習内容を全部つなぐとこんな感じになります。



最初に失敗するところを見つけ出し、一つずつ丁寧に解決していこう。
それが勝利への道だ！